

樹



北海道羽幌高等学校
平成30年度
3年A組 HR通信
7月26日 第15号
発行者：桑原・笠嶋

夏休みこそ勝負

学校祭よく頑張りました。準備の段階から学校祭をよりよいものにしようという一人ひとりの想いがよく伝わってきました。意見がぶつかるのはよりよいものをつくるために必要なことです。山車の完成度はとても高く斬新なデザインでした。横断幕は細部まで書き込んでありました。パフォーマンスは見所が多く素敵でした。模擬店は大盛況でした。最高の学校祭でしたね。

さて、25日間の夏休みがはじまります。自分の一生をそして人生を懸けた夏休みです。大学に行けば社会人になればどれだけでも遊べます。花火も焼き肉も海水浴もどれだけでもできます。学生ならアルバイトもできます。社会人ならば夏のボーナスをいただいて旅行でも計画するのでしょうか。

本気で頑張ることができるのは今しかありません。今年の夏は一生で一番辛い夏休みにしてくれることだと期待しています。人間慣れば椅子でも寝ることができるようになります。数日風呂に入らなくても、毎朝顔を洗わなくてもなんとありません。

不合格は本当に苦しくて寂しくて悲しくて辛いものです。そんな思いをしたくないのなら人が頑張れないくらい頑張るのみです。合格する人は例外なく努力をしています。人よりも1秒でも長く、1間でも多く必死で取り組んでください。

高校生活最後の夏

学校祭お疲れさまでした。約3週間の準備期間、そして学校祭当日の3日間はA組もB組もそれぞれみんなで協力して良いものを作り上げることができました。多少のぶつかり合いはあったものの、それを乗り越え1つの目標に向かってみんなで進む姿はとても立派でしたよ。満足いく結果になった人もなかった人も、それも“いい思い出”として心に刻まれていくでしょう。一生の思い出として大切にしていって下さい。

そして、明日から夏期休業がスタートします。学校祭が終わったからといって、まだまだ夏は終わっていません。自分の進路実現に向けて本気になってください。皆さんはまだまだ本気さが足りません。

高校生活最後の夏はもう返ってこないのです。私がタイムマシンを使って戻れるとしたら、高校3年生の夏休みに戻りたいと思っています。「もっともっと勉強するべきだった。全然足りないのだと気づくのが遅かった…」と後悔しているからです。皆さんにはそんなことになってほしくないから常々伝えています。本気になるなら今ですよ。夏期休業明け、成長している姿を楽しみにしています。良い夏期休業を過ごしてください。

